

(2) 協定締結面積

協定締結面積は、昨年度より266ha増加し33,123haとなった(表3、図1)。交付金の対象となりうる農用地面積は、知事特認地域の見直しや農振農用地区域への編入により、昨年度から806ha増加した40,685haと推計され、対象農用地面積に占める協定締結面積の割合(締結率)は、81.4%と減少した。

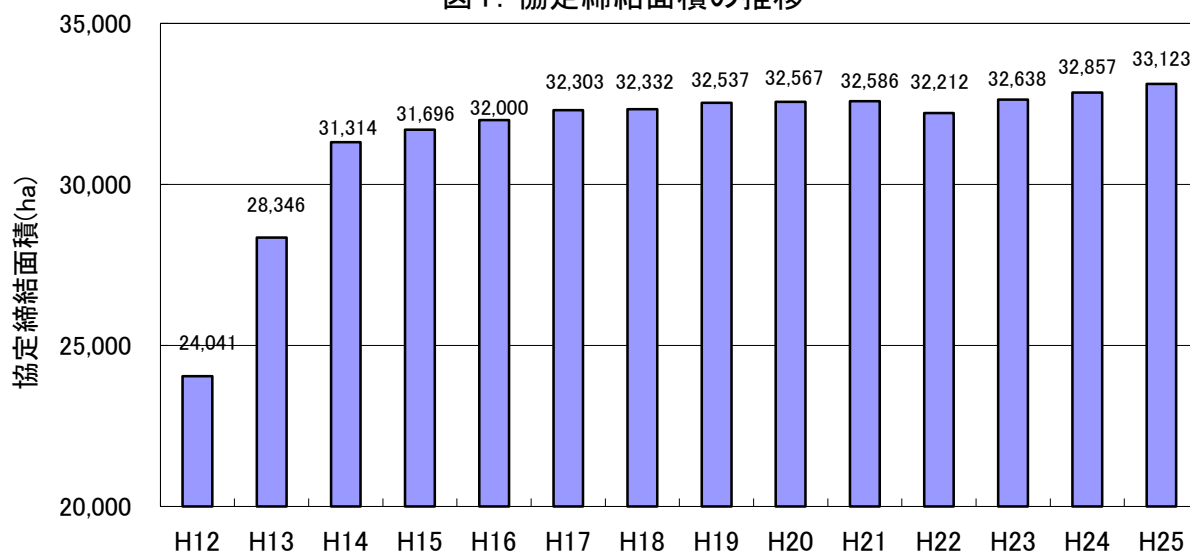
表3 協定締結面積の推移

(単位:ha)

年 度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
協定締結面積	24,041	28,346	31,314	31,696	32,000	32,303	32,332	32,537	32,567
田	7,970	10,854	12,483	12,754	12,964	13,621	13,809	13,931	13,946
畑	3,091	3,750	4,025	4,111	4,148	4,373	4,429	4,502	4,518
草 地	2,074	2,120	2,246	2,246	2,248	2,158	2,082	2,082	2,081
採草放牧地	10,907	11,622	12,570	12,585	12,640	12,151	12,013	12,022	12,022
年 度	H21	H22	H23	H24	H25	前年比			
協定締結面積	32,586	32,212	32,638	32,857	33,123	+266			
田	13,947	14,239	14,531	14,706	14,871	+165			
畑	4,535	3,958	4,055	4,099	4,184	+85			
草 地	2,075	2,033	2,112	2,112	2,112	-			
採草放牧地	12,030	11,982	11,940	11,939	11,955	+16			

※ 四捨五入のため、計は整合しない。

図1. 協定締結面積の推移



① 地目別面積

協定締結面積を地目別に見ると、田が14,871haと最も多く45%を占め、次いで採草放牧地11,955ha(36%)、畑4,184ha(13%)、草地2,112ha(6%)となっている。(図2、図3)

図2. 地目別協定締結面積

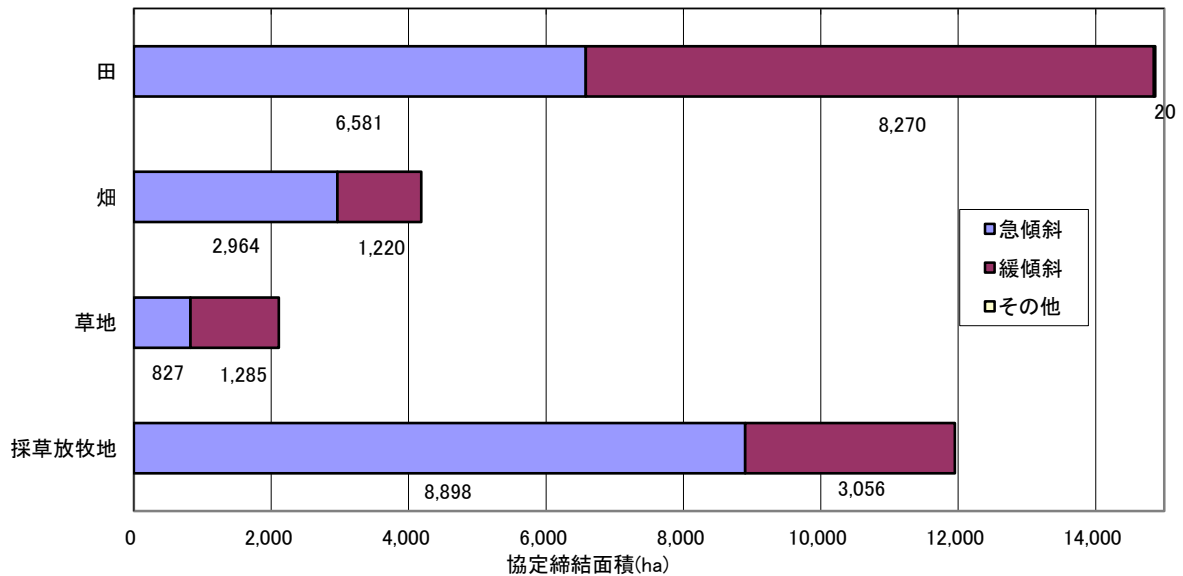
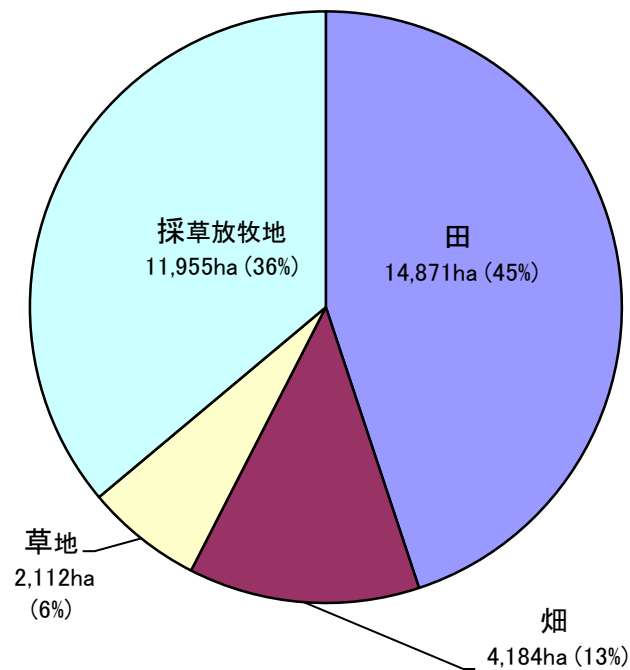


図3. 協定締結面積の地目別割合



② 地域別面積

協定締結面積を地域別に見ると、広大な採草放牧地を有する阿蘇地域が全体の54%に当たる17,963haと最も多く、次いで上益城地域の3,134ha(9%)、球磨地域の2,832ha(9%)等となっている。(図4、図5)

図4. 地域別協定締結面積

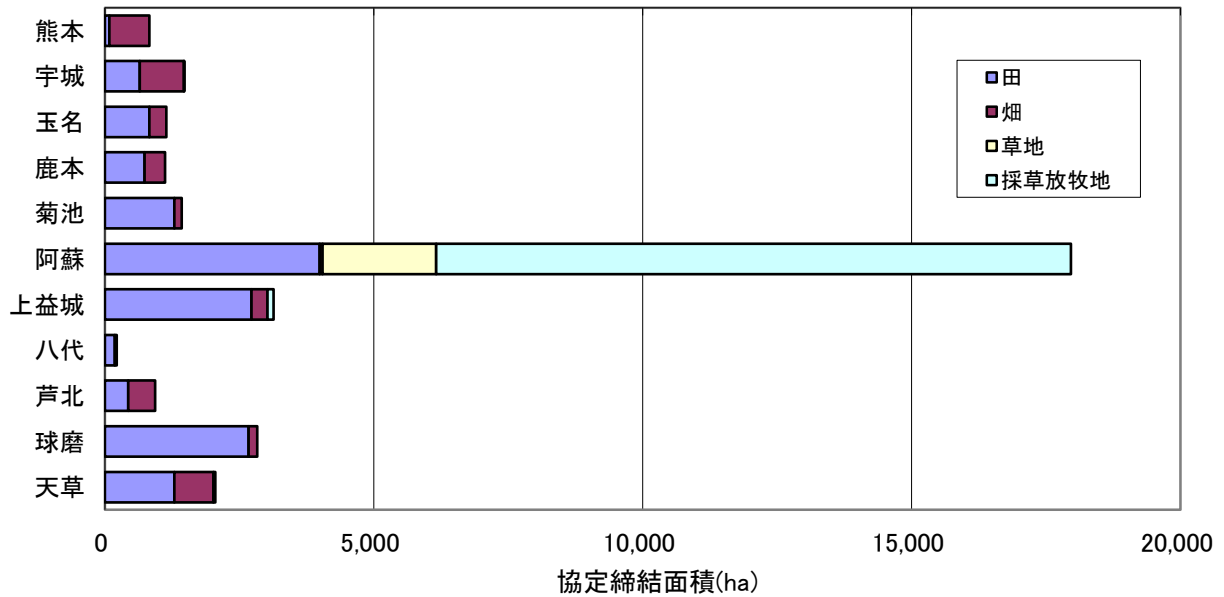


図5. 協定締結面積の地域別割合(ha)

